

学校教育目標「豊かな人間性とたくましく生き抜く力を身につける子どもの育成」

# しきなん shikinan

敷島南小学校  
学校便り NO.15  
令和5年 11月  
学校長 五味 正年

## PTA バザー開催

10月21日(土)にはPTA主催のバザー(個人出店のフリー・マーケット含む)が行われました。久しぶりの開催ということもあり、執行部の役員さん方も以前のことを思い出しながらの取り組みになりました。不明な点については、意見を出し合いながら決めて進めました。地域へのチラシから始まり、バザーに出品する商品集め、一つ一つの商品への値付け、会場のレイアウト、吹奏楽部への出演依頼など、一つ一つ確実に進めながら準備を行っていきました。そんな中、役員さん方の御協力があり、限られた時間の中でしたが、前日までに準備が整いました。これら一つ一つが積み上げられた結果、当日は大盛況で、多くの人たちが来校してくださいました。PTA 役員の皆様方、お疲れさまでした。



また、この日は、本校の吹奏楽部もご招待いただき、約30分間演奏しました。多くの保護者や地域の皆様の温かい応援、ありがとうございました。





# 道徳授業参観と講演会へのご参加ありがとうございます

10月27日は、道徳授業参観とPTA 文化部主催の講演会がありました。たくさんの保護者の皆様や地域からは長塚の自治会長の中込さん、保幼小連携で保育園・幼稚園の先生方にも参観していただき、ありがとうございました。学年ごと、それぞれの発達段階に合わせた授業内容で、保護者の皆様にも、一緒に考えていただけるような授業になっていたのではないのでしょうか。それぞれの学級の授業では、考え、話し合い、お互いの考えを認めあい、「多くの道徳的な価値を気付くこと」さらには、「気付いた価値を実践できるようになっていけること」について学習することができました。ぜひお家で思い返し、お話をしていただけるとありがたいです。

今回、私は、4年生の授業で“腰塚勇人さん”を題材にした話を聞いたとき、以前勤めていた上野原小学校で、“腰塚勇人さん”を講師としてお招きしたことを思い出しました。事故で体が不自由になってもあきらめず、挑戦し続けた方であり、実体験をもとにしたお話は、大変説得力がありました。その中で「自分の命の使い方」について、深く考え、「自分と他人の命を傷つけない」こと、そして、「命の喜ぶ生き方をする」ことにたどり着いた話は、特に印象に残っています。また、このことを実践するために「五つの誓い」（「口、目、耳、手足、心」をどのように使っていくか。）を立てて実行していったことも記憶に残っています。この「五つの誓い」を意識しながら実践していくと、相手との良い関係づくりができると感じました。皆さんにもお勧めです。



講演会は、4年生の児童と保護者の参加のもと、山梨県の教育庁生涯学習課より渡邊雅男さん、平賀貴久子さんを講師にお招きし、「ほっと！ネット！ミナー～今こそ考えよう！スマホやゲーム機の使い方～」と題して開催されました。スマホやゲーム機などインターネットつなげる機器の使い方について、親子で一緒に学びました。

インターネットにつなぐことで、簡単に多くの情報を得たり、遠近関わらず、交流したりすることができるという利点があります。しかし、一般社会には良い人ばかりではありません。顔や名前を偽ったり隠したりして、誹謗中傷を行ったり、他人をだまして損害を与えたりするような悪い人たちもいます。それらを知って、一人一人が気を付けることが大切です。便利だけど、その裏には危険があることを知り、正しい使い方をしていきたいものです。ご家庭でも、使い方についてルールを作り、子どもたちが安全に使えるようお願いします。

